



日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2007.3.20

No. 30-25

発行:日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan
 幹事会
 〒144-0043
 東京都大田区羽田5-11-4
 フェニックスビル
 TEL.03-5705-2770
 FAX.03-5705-3274
 E-mail:office30@alpajapan.org



日本エアコミューター乗員組合 &

琉球エアコミューター乗員組合・再回答勝ち取る！

琉球エアコミューター乗員組合は、1996年の組合設立以来初めてのストライキ通告を行ないました。3月15日に、沖縄県庁において日乗連主催で記者会見を行ない、その後株主である沖縄県へも要請行動を行ないました。那覇-久米島は、時刻表では、RAC便のDHC8で30分に対して、JTAのボーイング737で35分のブロックタイムを設定しており、ジェット機より早いプロペラ機の時刻表になっています。また、那覇空港は、軍民共用空港であり、那覇近辺の軍事エリアが壁のように囲まれているなかで、定時制と安全性を脅かされる運航を強いられています。また、IFRで飛行すると必ず定刻どおりに飛行できない時刻表設定であり、乗員にタイムストレスを与え、利用者にも慢性的な遅延が生じて不便をかける現状となっております。そのような中、3月20日の山場に向けて鋭意交渉を行ない、那覇-久米島線のブロックタイム+5分を勝ち取りました。たった5分とは思いますが、月、年間を通して考えると大きな数字となってまいります。他路線にも検討するという社長発言もあり、今後の動向を期待します。

日本エアコミューター乗員組合は、以下のような数々の前進回答を獲得し、3月19日21時23分に春闘の收拾を決定しました。ペアブルタイム問題は、3月分の内容は、現行どおりで、法廷闘争で問題解決することが確認されました。

今後とも、地域航空組合のご理解とご支援をお願いします。

2007 春闘回答抜粋		2007年3月20日現在
日本エアコミューター乗員組合	琉球エアコミューター乗員組合	
<ul style="list-style-type: none"> ・ JAL 国際線私用搭乗の JAC 社員への対象拡大 ・ 年間休日数 1 日増で 110 日に ・ 地上勤務については一時金で支払い対応 ・ Y シャツの支給方法について弾力的な運用 ・ 勤務・福利厚生・安全・加齢乗員等の項目について前向きな確認がとれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 那覇-久米島:往復ともブロックタイム+5分 ・ 他の路線についても、今後検討することとする。 ・ ミール支給基準(昼食)が JTA と同じになる。 ・ インフルエンザ予防接種が会社負担 	

